

三星鹿屋

県立鹿屋高等学校PTA広報誌



第72号

発行日 平成28年3月1日
発行行 県立鹿屋高等学校PTA
発行責任者 上谷田浩幸PTA会長
編集責任者 米永千代美広報部長
題 字 西 葉月音 (2年1組)

- 1面：センター試験関連・PTA会長より～卒業生へのメッセージ～
- 2面：校長・学年主任より～卒業生へのメッセージ～
- 3面：保護者より～卒業生へのメッセージ～
- 4-5面：3学年団、教科担任より～卒業生へのメッセージ～
- 6-7面：文化部も活躍！～「生鮮芸術市場」・軽音楽同好会ライブ～
- 8面：校内・PTA行事報告、離任式のご案内、編集後記

大学入試センター試験

1月16日(土)・17日(日)



大学入試の天王山でもある大学入試センター試験を3年生が受験しました。この後は各自の進路目標にむかって、それぞれの戦いに臨みます。

センター試験激励会 1月8日(金)

3学期の始業式にあわせ、生徒会の主催でセンター試験激励会が行われました。現生徒会長の激励のことば、3年生代表の決意のことばがそれぞれ交わされ、2年生応援団からエールがおくられました。



御卒業おめでとうございます

PTA会長 上谷田 浩幸

伝統ある鹿屋高校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

希望と不安の入りまじる中、本校の門をくぐってからの3年間の歳月は、瞬く間に過ぎてしまったのではないのでしょうか。皆さんは入学してから校訓「知・徳・体」のもとに、学業に精進し、部活動に汗を流し、体育祭・文化祭などの行事でも力を尽くし、感動の涙を流しました。この充実した3年間はこれからの皆さんの人生の大きな糧になることでしょう。また、これら本校生徒の文武両道の学生生活を支えるために、保護者の皆さんが朝早くから夜遅くまで皆さんのお世話をして頂いたことを忘れてはいけません。感謝の心を生涯持ち続けてください。

この春からほとんどの皆さんは、生まれ育ったこの大隅の地を離れ、進学にせよ就職にせよ、社会に巣立っていきます。今までの親元で過ごした高校時代とは全く異なる生活となり、何事においても自己判断により人生が左右されていきます。自分を甘やかさず、楽な方ばかり流されないように、しっかりとした自己をもって、常に最良の判断をしてください。

卒業は節目ではあるが決してゴールではありません。皆さんの前にはどこまでも続く道があります。それは決して平坦な道のではないでしょう。激しい嵐にも遭うだろう、凍てつく寒さも経験するかもしれない、しかし、辛苦を恐れずまっすぐ前を見つめ、鹿屋高校で過ごした3年間の経験を活かし、三星魂を忘れることなく、遙か遠くにあるゴールを目指して歩いてほしいと思います。

私たち保護者で組織されているPTAは、いつまでも彼方たちの最大の理解者であり、最強の応援団であり続けます。

『キバレ三星健児!』

「一隅を照らす」

三年生の皆さん、卒業おめでとうござい
います。

校歌の歌詞に『永遠の生命を三年にこ
めて』とあるように、仲間とともに過
した三年間は、皆さんを大きく成長させ
てくれたことと思います。

皆さんは、鹿屋高校生、即ち、三星健
児としての誇りを持ち、勉学や部活動
生徒会活動、学校行事等によく頑張つて
きました。

クラスマッチでは、総合で一位から三
位まで三年生が独占するという活躍をし、
後輩達にクラスの団結力の強さや頑張る
姿を手本として、示しました。

体育祭でも、学年の団結力を発揮し、
前半はリードを許していたものの、後半
には底力を見せ、見事逆転し、優勝を果
たしました。

学習面においては、三年生になり、朝
課外から、授業、そして、放課後学習と
真剣に取り組んできました。夏休みに取
り組んだチャレンジ108、冬休みに取
り組んだチャレンジ・ニューイヤールな
ども含めて、この一年間、『受験は団体
戦』の合い言葉のもと、お互いに励まし
合いながら、各自頑張ってきました。部
活動においては、陸上部、水泳部、ボー
ト部、カヌーの全国大会出場、剣道部の
九州大会出場などを始めとして、それぞ
れの部が大いに活躍してくれました。生
徒の皆さんは、仲間と切磋琢磨し、技を
磨き心を磨き、お互いに高め合いながら
成長してきました。これまでの鹿屋高校
のよい伝統を引き継ぐとともに、新しい
伝統を築こうと仲間とともに努力してき

校長 今村 成弘

た三星健児の皆さんに心から感謝します。
卒業しても、母校に対する愛情を持ち続
け、三星魂を発揮して、飛び立つ社会で
活躍してほしいと願います。

ところで、卒業生の皆さんの旅立ちに
当たり、饒として「一隅を照らす」とい
う言葉を贈りたいと思います。

一隅を照らす、という言葉は、最澄が
比叡山で天台宗を開くに当たり、人々を
幸せへと導くために、弟子たちを人材と
して育てたい、との願いを込めて著した
「山家学生式（さんげがくしょうし
き）」を出典とする言葉です。冒頭部分
は「国宝とは何物ぞ、宝とは道心なり。
道心ある人を名づけて国宝と為す。故に
古人言わく、径寸十枚、是れ国宝にあ
らず。一隅を照らす、此れ即ち国宝なり
と。」となっており、概訳すると、「国
の宝とは何か。お金や財宝は国の宝では
なく、家庭や職場など、自分自身が置か
れたその場所で、精一杯努力し、明るく
光り輝くことのできる人こそ、何物にも
変えがたい国の宝である。一人ひとりが
今いるその場所を照らす（精一杯努力し、
明るく光り輝く）ことによって、社会全
体が明るく照らされていくのである。」
といった意味になるかと思えます。

皆さんも、自分の持てる力を発揮して、
一隅を照らす人になってほしいと思いま
す。

最後に、皆さんのこれからの活躍を期
待し、旅立つ皆さんの前途が幸多からん
ことを祈念いたします。

「つらいときも微笑んで」

二学年主任 川野 和 昭

六十八期生の皆さん、卒業おめでとう
ございます。また、保護者の皆さん、十八
年間の子育てお疲れ様でした。

下世話な話題で恐縮なのですが、最近
テレビを見ていて、好きなCMがありま
す。お菓子メーカーのCMなのですが、
ハグハグというキャラクターが、都会の
険しい表情の人々を、ハグして笑顔に
変えていくというものです。

このCMのバックに流れているのが、
チャップリン自身によって作曲され、
映画「モダン・タイムス」のテーマになり、
後に歌詞がつけられ、ナット・キング
・コールが歌ってヒットした、「Smile」
という曲です。著名な曲で、たくさんの
カバーがあるので皆さんも一度は耳にし
たことがあると思います。この歌詞に

「微笑んで、心が痛くても、
微笑んで、たとえ傷ついてても、

(中略)

泣いていてどうなる。

君が微笑んでいれば、人生は価値が

あるものだとか分かるだろう。」
とあります。

皆さんには、これから輝く未来が待っ
ているはずですが、もちろん順風満帆な
人生などなく、困難な局面に立たされる
ことが必ずあるでしょう。でも、悪いこと
は長くは続きません。明けぬ夜などない、
といえます。微笑んでいれば必ず良い
ことがあると信じてほしいと思います。
皆さん一人一人が大切な存在であること
を忘れないでください。



遠足の万滝ハイキング



緊張の入学式



修学旅行で訪れた東大寺大仏殿



文化祭の揮毫パフォーマンス

保護者より卒業生へのメッセージ

嬉しかったこと。三年前、鹿屋高校に入学してくれたこと。部活動を三年間続けてくれたこと。嫌な顔をせずに、毎日学校へ通ってくれたこと。そして、卒業という日を迎えてくれたこと。

これもひとえに、良き先生方と良き友人に恵まれたからだと思います。お世話になりました皆さん、本当にありがとうございました。
父より

早いもので、もう卒業という日を迎えることになりました。いつも近くで過ごしていたので気づきませんでした。改めて見ると成長しましたね。鹿屋高校での経験が、今の貴女をつくってくれたんですね。

親子共々まだまだ未熟ではありますが、これからもご指導をよろしくお願いいたします。鹿屋高校のますますのご発展を祈念します。
母より

鹿屋高校に入学したのが、つい先日のように思い出されます。初めての高校生ということで分からないことだらけでしたが、先生方の手厚いご指導により、無事卒業を迎えることができました。

まだ、進路は確定していませんが、卒業後もしばらくは学校に行くこととなりそうです。お忙しいとは思いますが、今しばらくの間お付き合いください。

父より



感動の体育祭



残念!登山ならず。しかし、白熱のバレー大会

上床より
Heading for
Tomorrow
Study

安藤より
感謝

喜入より
夢

大山より
挑
何事にも前向きに
チャレンジを。

ワダリン
より
怒

立元より
歩前へ



米倉より
2045年
“特異点”のこの年に、
48歳のあなたがたが、
世界中に三星の
風を吹かせている
ことを期待します!!

永山より
卒業おめでとう!!
未来はきっと
輝いてる!!

湊より
Stick it out
to the last!
(最後まで粘り切れ!)

山崎より
花よりも
花を咲かせる
土になれ

もりより
毎日、小さな何かを
一つ続けてみよう。
晴の日も 雪の日も

横山より
「おもしろき
こともなき世を
おもしろく」

吉留より
卒業おめでとう。
皆さんの活躍を
期待しています。
キバレ三星健児

川野(誠)
より
麗星高校68期へ
いよいよ旅立ちの時を迎えますね。
1年間共に成長でき嬉しく思います。
教師生活で最初の生徒が
68期で本当に良かった!
また会いましょう!!!

3学年団・教科担任より
卒業生へのメッセージ



ニシハタ
より
学びに感謝!!
出会いに感謝!!
卒業おめでとう!!

川野(和)
より
卒業おめでとう!
光輝く未来を
祈念して。

岡本より
自分の道を全力で
進み続けよう。

岩根より
元気
いつも笑顔
感謝
頑張り!

田代より
ソフトテニス
まじでした。
全員卓球
楽しかったです。

小蘭より
第68期の三星健児の諸君、
ご卒業おめでとうございます。
晴れやかな門出の日、OBとして
感慨も一入です。輝かしい未来の
待つ皆さん、是非頑張って下さい。
期待しています。

下窪より
祝! 卒業
君たちは、これからも
三星健児です。
期待しています。

谷より
卒業おめでとう!
これからも
頑張りましょう。
でも息抜きも
時には必要です。

児嶋より
辛い時こそ、上り坂
です。
辛いな、苦しいなど
感じている時こそが、
まさに成長している時。
逞しく生きていこう!!!

中村より
卒業おめでとうございます。
これからの皆さんの活躍に
期待しています。

牧之瀬
より
“得意に帆を揚げて”
(得意なことを活かせる
チャンスを逃さず)
生きる人になろう!!

西中村
より
自分を信じて
自分を活かそう



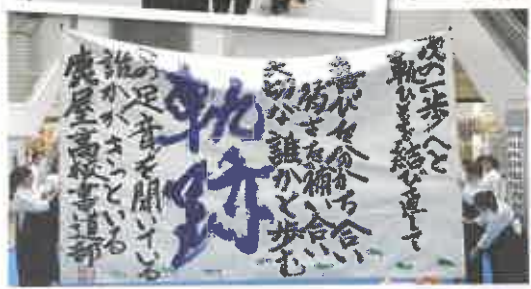
★文化部も活躍!!★

～「生鮮芸術市場」・軽音楽同好会ライブ～

生鮮芸術市場

1月28日(木)～2月1日(月)

1月28日(木)～2月1日(月)の5日間、プラッセだいわ鹿屋店の1階センターコートにおいて、毎年恒例の「生鮮芸術市場」が開催されました。美術部・書道部・写真部による作品展示、吹奏楽部によるオープニング演奏とコンサート、美術部による似顔絵サービス、書道部による揮毫パフォーマンスがそれぞれ期間内に行われ、会場は大いに賑わいました。



吹奏楽部



私たちが吹奏楽部は、1年生28名、2年生12名の40名で、松尾先生と日高先生の御指導のもと日々の練習に励んでいます。今年の生鮮芸術市場では、オープニングと吹奏楽部コンサートで演奏させていただきました。オープニングとコンサートの間が短く、コンサートにむけた準備が大変でしたが、当日は部員が一丸となって成功させることができました。コンサートでは、お客様が手拍子などをしてくださり、とても楽しい時間となりました。

部長 上 蘭 智也
(2年6組)

美術部

部長 藤重 朋香
(2年1組)



今年の生鮮芸術市場では、毎年恒例の似顔絵コーナーを催しました。なかなか似顔絵の練習ができません。そのまま本番をむかえましたが、当日は例年よりもお客様が多く来てくださり、描いた絵を手渡す時、「ありがとう。」「上手に描いてもらえて嬉しい。」「など、温かい言葉をかけてもらえたので、こちらも嬉しい気持ちになりました。

来年もこの調子で似顔絵コーナーを続けていけるよう頑張ります。

書道部

部長 亀甲 有沙
(2年2組)



私たち書道部は、展示とパフォーマンスを行いました。展示作品は県高校書道展に出展したものです。パフォーマンスは、なかなか練習時間がとれず、少し不安がありました。本番が始まると部員一人一人が楽しみなことが出来ました。展示やパフォーマンスを見に来てくださった方々の中に、感動したと言ってくくださった方もいて、とてもうれしかったです。また、2階や3階からも見てくださるほどの大勢の方に御来場いただき、とても充実したものになりました。



1年生First Live with 2年生!

軽音楽同好会ライブin「鏡堂」 12月27日(日)

昨年末に行われた1年生初ライブに、多くの方々足を運んでくださり、ありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。

1年生は初めての演奏ながらも完成度が高く、すごいと思う反面、先輩として焦りも感じました。今後もライブを予定していますが、私たちがステージ上で「音」という表現を用いて輝く瞬間を、ぜひ見にきてください。

副部長 児島 蓮



長距離走大会

12月18日(金)

例年は1月に開催していた長距離走大会ですが、今年度は12月の開催となりました。1年生と2年生がそれぞれ参加し、男子が10kmを、女子が5kmをそれぞれ走りました。地域の方々からも温かい声援をおくっていただき誠にありがとうございました。今後も御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

1年女子(5Km)

順位	氏名	学級	タイム
1	迫 七 夏	3組	20'49"
2	山 崎 未 桃	5組	21'11"
3	郷 原 咲 帆	7組	21'40"

2年女子(5Km)

順位	氏名	学級	タイム
1	荻 田 早 希	5組	20'31"
2	厚 地 志 奈 乃	7組	20'58"
3	小 東 千 里	6組	21'00"



1年男子(10Km)

順位	氏名	学級	タイム
1	井 上 竜	2組	36'18"
2	別 府 夏 来	4組	36'22"
3	中 畑 敏 哉	6組	36'39"

2年男子(10Km)

順位	氏名	学級	タイム
1	郷 原 一 眞	4組	34'37"
2	上 木 太 晃	2組	34'58"
3	市 原 雅 大	3組	36'29"

第20回鹿屋市PTA研究大会・家庭教育講演会 1月16日(土) 於:鹿屋市文化会館



「向き合い、語り合い、学び合う、子どもたちの未来のために」をスローガンに、鹿屋市PTA研究大会ならびに家庭教育講演会が開催されました。研究会でのシンポジウムでは、「学力向上に結びつく親子の関わり方」〜ケータイ・スマホ・ゲーム機の家庭内ルールについて〜をメインテーマに、各校種単位での研究発表が行われ、基調講演は「なぜ子どもたちは正しく情報端末を使えないのか?」〜子どもたちの人生を守るための親力〜を演題に、NPO法人 ネットポリス 鹿児島理事長の戸高 成人氏が講演を行いました。

スマホやタブレットなどの情報端末について、情報化が進む今日では「使わせない」という選択肢がとりづらくなっています。家庭内ルールの作成や情報モラルの向上など、「どのように使わせるか」を、子どもを見守るおとなたちも学び、実践していく必要があります。

情報機器とのつきあい方について、あらためて各御家庭で語り合ってみてはいかがでしょうか。

編集後記

今年度最終号となりました三豊市立鹿屋はいかがでしたか?広報部一同、皆様のご理解とご協力を頂きましたことを心より感謝いたします。私自身、広報部活動を通して、我が子の通う学校を多面的にうかがい知れた濃い1年となりました。学校外での取材時に「鹿屋高生は気持ちよく挨拶してくれる。」とお褒めいただいたことを最後の報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

広報部長 米永 千代美 (116)

担当職員

牧之瀬 瀬 戸・西中川

広報部員

葛 迫 (31)・鶴 瀬 (37)
上 船 (22)・柿 内 (22)
横 山 (22)・阿 松 (21)
米 羽 (27)・黒 多 (21)
米 田 (26)・麥 生 田 (27)
米 永 (16)・持 留 (16)

離任式の御案内

日時 3月28日(月) 9:30
場所 鹿屋高校体育館
平成27年度の離任式が行われます。長年本校で勤められた先生方との大切なお別れの会です。現役生徒のみならず、卒業生や保護者の皆様も是非とも御来校ください。